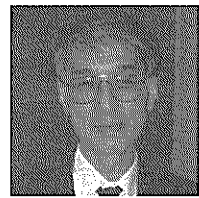


未来はあるか

2

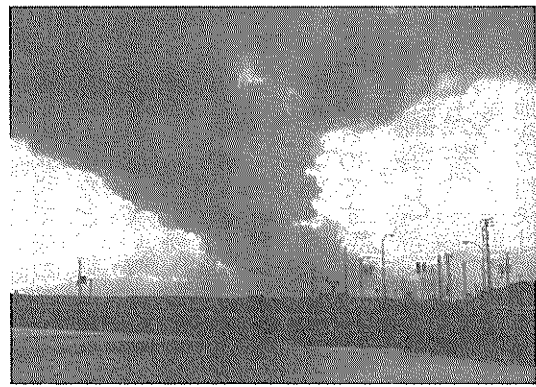
核=原子力に 六ヶ所再処理工場周辺での 空气中トリチウム濃度 測定結果が示すもの



小出裕章

こいで・ひろあき ●京都大学原子炉実験所助教。1949年東京生まれ。東北大学原子核工学科卒。原子力の「平和」利用に夢を抱き原子核工学を専攻するが、大学闘争や女川原発建設反対運動に接する中で核と原子力が一体であることを知る。以降、原子力に力を注ぎ、核=原子力施設による環境汚染の解明、原子力施設事故の解析、原子力を含めたエネルギー問題など。著書に、「人形峠ウラン鉱害裁判―核のコミの後始末を求めて」(共著)批評社など。

ブルトニウムを入手しようとするれば再処理は必須の作業です。そのためすべての核兵器保有国は再処理を行いました。例外なく深刻な環境汚染を引き起こしました。原爆を作るといふ軍事上のかけがえのない要請のため、環境汚染は無視されたのでした。六ヶ所再処理工場(青森県)も、もし本格稼働に入れば、放射能による環境汚染を生じることが確実です。国や事業者は周辺住民が受ける被曝はたいしたものではないと主張していますが、住民は自力で放射能汚染を監視する仕事を負うことになりました。



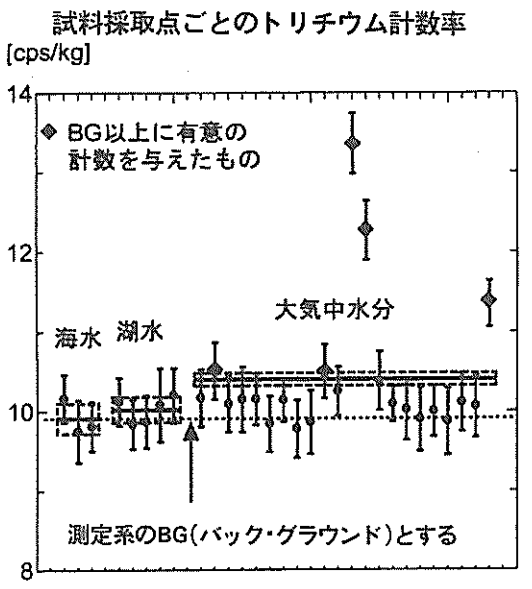
▶再処理工場から野鳥の森公園に向かって流れてきた雲。原子力燃料情報室の澤井正子さん、上野十尋さん撮影(2008年9月27日)。写真提供:原子力燃料情報室

すでに経済的に破綻している六ヶ所再処理工場はクリプトン85(Kr-85)、トリチウム(H-3)、炭素14(C-14)の3つの核種については、「フィルターでは取り除けません。……十分な拡散希釈効果を有する高さ約150mの主排気筒、沖合約3km、水深約44mの海洋放出口から放出します」と書き、全量を放出するとしています。原子力発電所を含め、再処理工場を除くすべての核(原子力)施設は放射性物質を環境に捨てる場合、原子炉等規制法によって濃度規制を受けます。たとえば、六ヶ所再処理工場から海に放出が計画されているトリチウムの量は年間1万8000テラベクレルで、もし原子炉等規制法を適用すれば、毎日100万トンの希釈水が必要になります。そんな大量の希釈水などある道理がなく、日本の国は、再処理工場の場合には、濃度規制をしないことにしてしまいました。そして、放出した放射能は大気中や海で薄まってしまうので、住民が受ける被曝は1年間に0.022ミリシーベルトにしかならないと金科玉条のごとく数値を振り回しています。しかし、その数値は多数の仮定を積み上げた上での単なる計算にすぎず、実際にどうなるかは、桁で

変わってしまうほどの誤差があります。そのため、再処理工場から環境に捨てられた放射能がどのようにならば、汚染を広げるかについては、特別に注意をして調査をすすめる必要があります。そこで、青森県の住民や原子力資料情報室の協力のもと、いくつかの放射能の測定を続けてきました。そして、トリチウムについての汚染調査は2007年から始めました。トリチウムは三重水素と呼ばれるように水素の同位体であり、放射能を持っていません。地球に降り注ぐ宇宙線によって大気中でも生み出されていて、130万テラベクレルが天然に存在しています。また、1960年代に大量に行われた大気圏内核実験では、1億8600万テラベクレルが放出されたと推定されています。それらは、地球の環境では、酸素と結びついて水となり、大気中の水分や湖水、海水などの中に存在しています。六ヶ所再処理工場が運転されれば、それらすでに存在しているトリチウムの汚染の上に汚染を上乗せすることになります。

六ヶ所再処理工場からのトリチウムは大部分が液体として海に放出されることになっています。それは大量な海水で短時間のうちに薄められてしまい、汚染の検出は容易でないと予想できます。しかし、排気筒から大気中に放出されるトリチウムも年間1900テラベクレルあるとされており、空気中のトリチウムに着目した測定をすれば、汚染を検出できる可能性があります。そこで、2007年から空気中の水分を除湿機によって採取し、分析する仕事を始めました。その結果、石油備蓄基地東、室ノ久保モニタリングステーション

ンにおけるトリチウム濃度がその他の点に比べて高いことを見出しました。ただ、すでに述べたように、天然にもトリチウムはありまですし、大気圏内核実験での汚染もすでに存在しています。2007年に検出した比較的高い空気中トリチウム濃度が再処理工場に原因があると断定することにはまだためらいが残りました。



明白に異常な計数値を得た試料

番号	採取年月日	採取点	cps/kg		Bq/kg		mBq/m ³ 空气中濃度
			濃度	標準偏差	濃度	標準偏差	
37,38	2008/9/27	尾駈沼・野鳥観察公園	3.34	0.41	9.53	1.16	99
39,40	2008/9/27	尾駈沼・野鳥観察公園	2.24	0.40	6.41	1.14	67
59,60	2008/9/28	尾駈沼・野鳥観察公園	1.32	0.33	3.78	0.95	39

せん断作業が行われていたその日、その時刻に異常なトリチウムを検出

2008年秋に再度、測定を行い、再処理工場周辺の大気中水分にまた異常なトリチウムを検出しました。異常値を検出したのは再処理工場の東側尾駈沼のほとりにある野鳥観察公園で、その日、その時刻は再処理工場で使用済み燃料のせん断作業が行われていた時でした。また、風も東向きに吹いていて、野鳥観察公園はちょうど再処理工場の風下に当たっていました(写真参照)。

このときには合計30地点でトリチウムの測定を行いました。3地点は海水、5地点は尾駈沼など湖水、残り22地点が大気中の水分です。図の左から3個が海水、次の5個が湖水のデータで、続く22個

市民活動掲示板

●第9回子どもの権利条約東京市民フォーラムのついで これからの東京の子ども施策について一部議会各会派と語る 自治体の次世代育成支援後期行動計画と東京都の果たすべき役割 9月26日(土) 13:00~17:00 東洋大学白山校舎6号館地下6B15教室(都営三田線白山駅・メトロ南北線本駒込駅) 進行:森田明美さん(東洋大学教授) 発言:東京都議会各会派の議員 資料代1000円(学生・18歳以下無料)

保育(300円:おやつ代含む)は要事前申込み 問合せ ☎03-3200-9115同フォーラム事務局

●成年後見制度を使いこなそう! ボランティア(支援者)養成講座 9月27日(日) 10:30~16:20 日本青年館5階大会議室501(JR千駄ヶ谷駅・メトロ外苑前駅) 基調講演「高次脳機能障害と成年後見制度」大貫正男さんほか 参加費500円・資料代500円 問合せ・申込み ☎03-5849-4831 NPO法人VIVID

●東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合25周年記念事業「過去から未来へ 地域から世界へ

今こそ伝えたい! ワーカーズ・コレクティブ やりがい・生きがい・働ががい! 10月3日(土) 9:30~16:00 調布市文化会館たづくり12階大会議室(京王線調布駅) 基調講演「経済活動から生命の営みへ―これからの労働を考える」内山節さん(哲学者) パネルディスカッションほか 問合せ ☎03-3207-1941同協同組合

●10.3 NO NUKES FESTA 2009 放射能を出さないエネルギーへ 10月3日(土) 明治公園(JR千駄ヶ谷駅) 開場10:00 開会11:00 パレード出発15:30 音楽・踊り・トーク・物産

展・展示ブース・ワークショップなど 入場無料 連絡先 ☎03-3256-1695実行委員会事務局 <http://www.nonukesfesta2009.com>

●No! 寝たきりデー2009 一緒に考えよう、市民がつくるく支え合い>社会 2011年、介護保険改定をみすえて 10月3日(土) 11:00~16:00 全国町村会館(メトロ永田町駅、赤坂見附駅) 報告:市民の介護白書 市民事業からの報告・提言と討論 参加費2000円 主催:市民福祉サポートセンター ☎03-5214-6426 <http://www.ssc-jp.org>

●編集後記/8月15日、川崎市平和館に出かけた。映画「父と暮らせば」と、原爆展・特別展「ヒロシマ・ナガサキ、そして、ひめゆり・沖縄が語るもの」を見る。広島平和記念資料館、長崎原爆資料館、沖縄県平和祈念資料館、ひめゆり平和祈念資料館、川崎市平和館の所蔵品の展示をとおして、平和の尊さを考えるという企画だ。時間がなくてまわれなかった常設展示にも工夫がこらされているようで、再訪したいと思っている。(上坂)

「生活者通信」の購読者を募集 ●定価:年間(1~12月)1000円・年の途中から開始の場合1号分100円×残月数 [お申し込み方法] 郵便振替をご利用ください。お名前・ご住所・〒番号・電話番号・開始月を明記して、口座番号:00130-3-18417 加入者名:「東京・生活者ネットワーク」に払い込みを(手数料120円)。振込みが確認され次第、「生活者通信」をお届けします。